


公明党  
林 浩明  
ひろあき




### 外国人材の受け入れと多文化共生 社会の実現

**問** 政府は令和6年以降に、「育成就労制度」を実施する方針であるが、本市に外国人材を受け入れ、新たな担い手として定着できるように取組及び今後の方向性について伺いたい。

**答** 国や県が行う翻訳機器導入や社内標識設置に対する支援等について地元企業に周知を行うほか、産学官一体で設立した長崎留学生支援センターで企業向けの留学生人材活用セミナーを開催するなどの就職支援に取り組んでいる。

また、多文化共生社会の実現に向け、外国人転入者に向けた行政手続き等を4か国語で記載したガイドブックの配付、行政窓口での通訳サポート、日常生活に必要な日本語講座や市民の国際理解を深める講座等を行っている。

今後も国の動向を注視するとともに、県や関係団体と連携し、取組を進めていきたい。

自民創生  
浅田 明生  
あさだ しみづ

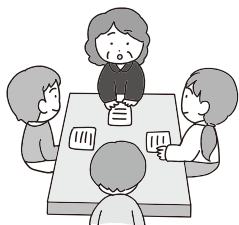



### 愛宕団地公民館の存続


**問** 愛宕団地公民館は県有地を市が無償で借り受け、その土地に自治会が公民館を建てているが、県から市へ令和6年3月末で契約を満了する旨の文書が送付されたことについて、今後の解決に向けての具体策を伺いたい。

**答** 自治会公民館は地域コミュニティの核となる自治会の活動拠点であり、県から市の事業について理解いただき、県有地を借り受けているものと考えている。一方で、市も県の事業に協力するため、複数の市有地を県に無償で貸し付けている状況もある。

したがって、市のコミュニティ活動事業の推進と、市と県相互の事業連携が重要であるという点を理解いただくとともに、住民の方々の不安も解消するため、改めて県に対し、早期に従前のとおりの貸付の取扱いを継続していただくよう要望していきたい。

ながさき次世代の党  
梅本 けいすけ  
うめもと けいすけ

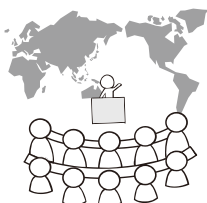


### 海外出張の旅費の考え方

**問** 市長の海外出張に当たっては、航空機でビジネスクラスを利用しており、同行した一般職員と旅費に大きな差があるが、無駄遣いではないか。

**答** 市長就任後、核兵器禁止条約第2回締約国会議への出席等に伴い、海外への出張を行っている。市長の海外出張時の航空運賃の等級については、国家公務員等の旅費に関する法律に準じて決定しており、現地到着後速やかに、市を代表して公務に当たること、また、帰路にあっても、到着後速やかに公務に当たることから、長時間の移動にあつては、睡眠の確保や公務の準備等を行う環境を確保し、公務の遂行に万全を期するため、ビジネスクラスを利用している。

今後についても、出張中及び出張前後の公務の日程などを踏まえ、円滑な公務執行を第一に、総合的に必要性を判断していきたい。




ながさきミライ  
高橋 佳子  
たかはし けいこ



### 病児・病後児保育施設の減少に伴う対応

**問** 病気がなった子どもを一時的に保育する病児・病後児保育施設の拡充に向けた医療機関や保育施設との調整状況を伺いたい。

**答** 市医師会に相談し、小児科医に対する事業参加の意向調査を行ったが、参加意向はなく、長崎みなとメディアカルセンターとも事業実施の可能性について協議を行ったが、人材確保の面などから現時点での実施は難しい状況であった。一方で、既存の保育施設での実施検討のため、保育関係団体等の協力のもと意向調査を行ったところ、実施を希望する施設が複数あったことから、現在は、施設における医療機関との連携方法や、職員の配置及び設備等の基準等について、確認や協議を進めているところである。

今後も、早急に拡充できるよう取り組んでいく。

